



【 今回の試験について 】

プラチナクラスは相談員および介護支援専門員の知識・技術を要し、お客様やその他専門スタッフへの説明ができることが求められています。下記事例と問題に基づき講義・実演を行ってください。

【 メモ 】

【 事例 】

■三浦 洋子（みうら ようこ）様 女性 92歳 要介護3

三浦様はもともと自立した生活を送っていましたが、3か月前に脳梗塞を発症し入院。後遺症で左半身麻痺が残っている。この度、新規認定を受け要介護3となり、病院の退院期限も迫ってきました。認知症はなく、判断能力も問題ありませんが、車椅子で生活しており、移動や排泄、入浴などに介助が必要な状態となっています。

同居している娘（62歳・会社員）は仕事が忙しく、日中は不在。三浦様の退院後の生活に不安を感じ、相談にきました。

■相談内容

- ・入院中に要介護3という認定が出たが、介護保険がどういうものなのかよくわからない。
- ・退院後の生活は自宅なのか他の選択肢があるのか知りたい。仕事もしているのでお金はかかってもいい。
- ・介護に協力はしたいが仕事があるため日中の対応が難しく、帰ってきて仕事疲れと知識がないことで介護ができるか不安。

■三浦様の状況

- ・座位：掴まるもしくは背もたれがあれば可能 ・移動：車椅子/自操可能 介助があれば3メートル程度の歩行は可能。
- ・立位：手すりに掴まれば3分程度の立位や方向転換は可能。時折バランスを崩して転倒することがある。
- ・排泄：1人では転倒リスクあり。ズボンの上げ下ろしの介助必要。昼夜リハビリ＋パット使用。尿意・便意あり。
- ・服薬：自分で薬を飲む意識はあるが、左手が使えないため、薬の取り出しや開封が困難。落としやすい。
- ・食事：右手で箸やスプーンを使えるが、こぼしやすい。
- ・入浴：浴槽のまたぎ動作が困難であるが座るところと介助があれば可能。

■問題1（設定時間／8分）

あなたが事務所にいると三浦様の娘が今後の生活が不安で相談したいと来館し、あなたに対応することになりました。三浦様が退院後も安全かつ安心して生活できるように、要介護3の区分支給限度基準額（27,048単位/月）範囲内で、自由な発想で生活環境を整えるプランを提案してください。また、以下の点を考慮して回答してください。

- ① 介護保険のことがよくわからないという娘に制度の概要を説明
- ② どのような生活の場が三浦様にとって最適か検討
- ③ 必要な支援やサービスの組み合わせ（介護保険サービス、地域資源、介護保険外サービスなど）を検討
- ④ 娘の介護負担に配慮する

■問題2（設定時間／5分）

娘より、もし三浦様が自宅に帰ってくることにできればトイレの手伝いも必要になるが、介護なんてしたことがないのでとても不安で悩んでいると相談がありました。

自宅で安全に排泄がおこなえるよう、在宅での排泄介助において、注意すべき点や安全な介助方法を娘に向けて実演指導してください。（間取り参照）

[注意事項]

※試験の進行は試験官の指示に従ってください。時間配分は試験官によって管理されます。

※試験内容が判定でき次第、時間を短縮して試験を終了する場合があります。

※試験会場にはホワイトボード、マーカー（黒・赤・青）、必要物品を用意しています。

